



県立病院ニュース

病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して

第139号 平成27年8月 病院局発行

名誉院長称号授与式

～六日町病院前病院長 吉田先生、加茂病院前病院長 高橋先生、
吉田病院前病院長 田宮先生～



【写真】(左から) 吉田名誉院長、若月病院局長、高橋名誉院長、田宮名誉院長

名誉院長称号授与式が、7月15日病院局長室で行われ、六日町病院前院長吉田先生、加茂病院前院長高橋先生、吉田病院前院長田宮先生に名誉院長の称号が病院局長から授与されました。

吉田先生は、昭和51年3月、新潟大学医学部を卒業後、厚生連秋田組合総合病院等を経て、昭和59年1月から6月末まで六日町病院に内科医長として赴任、魚沼地域の悲願であった人工透析の開設にご尽力されました。また、平成17年4月より六日町病院に病院長として赴任され、平成27年5月のご退職までの10年間病院長をお勤めになられました。外来化学療法室・医療連携室の開設、病院機能評価の認定取得などに取り組まれました。また、魚沼地域医療再編においては、地域医療に係る意見の反映に努めてられました。

高橋先生は、昭和49年3月、新潟大学医学部を卒業後、竹田総合病院等を経て、平成11年4月から加茂病院に内科部長として赴任されました。その後、平成12年4月より同病院の病院長となり、平成27年3月のご退職までの15年間病院長をお勤めになりました。県立病院で唯一の療養病棟の立ち上げや、健康管理室の発足、総合診療科・緩和ケア科の標榜等、住民ニーズを踏まえた病院運営と経営改善に取り組んでられました。また加茂病院の改築にも尽力されました。

田宮先生は、昭和49年3月、新潟大学医学部を卒業後、長岡赤十字病院等を経て、平成11年1月から吉田病院に外科部長として赴任されました。その後、平成12年に診療部長を経て、平成19年より同病院の病院長となり、平成27年3月のご退職までの8年間病院長をお勤めになりました。院内感染対策の主導、放射線画像管理システムの導入、地域の開業医の先生との関わり等に取り組まれ、地域の急性期医療を担う吉田病院の先頭にたってられました。

長年、県立病院の安心・安全な医療の提供にご貢献いただき、これまでのご尽力に改めて感謝いたします。

吉田病院60周年記念 ～記念講演会等の開催～



愛されて60年
県立吉田病院はこれからも皆様と共に

県立吉田病院は今年創立60周年を迎えました。記念講演会を開催します

記念講演会

入場無料 事前申込み不要

と き 平成27年11月21日(土) 15:00～
と ころ 燕市吉田産業会館
燕市吉田東栄町14番12号
☎ 0256-92-2500

次第

開会挨拶 須田 武保 院長
当院紹介 原 正則 副院長



院長 須田 武保



玉川堂7代目社長
玉川 基行 氏

演 題
「不死鳥の燕～伝統とは革新の連続～」

講師 株式会社玉川堂 七代目 玉川基行 氏



講師略歴 1970年 燕市出身
1995年 株式会社玉川堂入社
2003年 代表取締役社長・玉川堂7代目就任
社長就任以降、海外事業展開を積極的に展開し
世界主要都市で玉川堂製品を販売

県立吉田病院のあゆみ

| | |
|-----------|-------------------------|
| 昭和30年 5月 | 吉田町立病院として創立 |
| 昭和30年 10月 | 県移管、県立吉田病院として開院 病床数 97床 |
| 昭和48年 4月 | 現在地へ移転 |
| 昭和52年 4月 | 小児慢性疾患病棟完成 病床数 408床 |
| 昭和54年 4月 | 第2期増改築工事完成 病床数 456床 |
| 平成 元年 10月 | 救急告示 |
| 平成15年 4月 | 子どもの心外科学診療開始 |
| 平成23年 9月 | 新病室工事 病床数 199床に増設 |
| 平成27年 6月 | 地域包括ケア病床11床試行 |

病院の理念: 地域に信頼され愛される病院

1. 患者さま中心の医療を提供します
2. 良質で安全な医療・看護を提供します
3. 地域医療機関と連携し地域医療水準の向上に努めます

お問い合わせ: 燕市吉田大保町32番14号 県立吉田病院 電話 0256-92-5111

吉田病院は、昭和30年吉田町立病院として創立し、同年県に移管され今年創立60周年を迎えました。創立60周年を記念し、11月21日(土)に記念講演会を開催します。講演会では株式会社玉川堂の七代目、玉川基行氏をお迎えし、「不死鳥の燕～伝統とは革新の連続～」と題して、ご講演を頂く予定です。

また、この他にも今年度3回の健康講座を予定しており、1回目は7月11日(土)に「ナイス・ミドルとミディのためのおしっこ講座」と題して、若月泌尿器科部長が講演を行いました。

2回目は9月5日(土)「肝・胆・膵のはなし」と題して中村内科部長が、3回目は10月17日(土)、田中整形外科部長がそれぞれ講演予定です。

今後も地域に密着した取組を実施していきます！！

BSC（バランスト・スコアカード）

成果表彰を実施します

BSCの実効性を高め、PDCAサイクルを実践しながら信頼される病院づくりを促進するため、本年度から新たにBSC成果表彰を実施します。

今年度の各病院（部門）のBSCの取組について、①問題の着眼点、②取組方法、③改善結果、④今後の展開、⑤特記事項を評価して、優秀な取組とその成果を表彰します。

成果表彰の内容

1 対象BSC

○部門長シート（1病院・1部門のエントリー）

2 審査方法

【1次審査】書類審査

・12月末時点の実績と達成見込が記入されたBSCとエントリーシート（*）の評価により、成果発表病院（5病院）を選定します。

* エントリーシートは審査項目に関する病院の状況の説明様式で、エントリー募集にあわせて、各病院に送付します。

・エントリー締切：平成28年2月5日（金）

【2次審査】成果発表会

・プレゼンテーションにより、上位5病院の最終順位を決定し、表彰状を授与します。

・開催時期：平成28年2月下旬～3月上旬

発表会の流れ

| | |
|---|---|
| 1 | ①病院から、問題の着眼点・BSCシート(戦略マップ・スコアカード)、取組及び成果を発表 ②審査員からの質疑 ※1病院あたり30分程度（発表15～20分、質疑応答10～15分） |
| 2 | 評価表による審査を集計 |
| 3 | 審査員からの講評 |

3 副賞

○最優秀賞、優秀賞、審査員賞には表彰状と副賞を授与します。

| | 副賞 | 備考 |
|------|-------------------|------------------------|
| 最優秀賞 | H28年度予算の増額配当 50万円 | 病院で自由に活用できる予算を増額配当します。 |
| 優秀賞 | // 30万円 | |
| 審査員賞 | // 20万円 | |

BSCの取組推進と成果表彰への取組応募をよろしくお願ひします。



地域啓発活動、糖尿病教室の開催！

～柿崎病院の取組を紹介します～

地域啓発活動

柿崎病院では地域住民の健康増進の一助として、毎年、地域講演会を開催しています。今年も第1回を6月6日（土）に開催し、藤森院長が「いきいき漢方 ～漢方で健康に生きる！！」、小林栄養課長が「食べ物が、体調を整えてくれるってホント？」と題した講演を行いました。今後10月、2月にも地域講演会を開催予定です。

また、地域の皆様と一緒に地域医療を考えるシンポジウムである「頸北地区の医療を考える会」を7月11日（土）に開催しました。上越医師会長の服部先生から上越地区の医療ビジョンと地域包括ケアについてお話いただきました。

毎年、年4回の講演会を開催していますが、4回の講演会全てに参加していただいた方には、健康問題に関心を持ち一緒に学んでいただいたことを称え2月の講演会で皆勤賞を表彰させて頂く予定です。

【今後の地域講演会の予定】

○第2回 H27. 10. 3（土）

「胃がんは、どこからやってくる？（仮題）」（鈴木診療部長、関谷薬剤師）

○第3回 H28. 2. 6（土）

「糖尿病って、どんな病気？（仮題）」（眞水内科医師、内山主任看護師）



（写真左から）
地域講演会、頸北地区の医療を考える会

（写真下）
手帳と修了シール

糖尿病教室

糖尿病教室として「病気・薬」、「検査・食事」、「運動・フットケアを含めた日常生活の注意点」と題して、1ヶ月に1回ずつ、3ヶ月間を1クールとして、年間2クール実施しています。修了者には当院で作成した「修了シール」を手帳に張ってもらっています！



「信頼される病院づくり」にかかる取組をお知らせください！

皆様からの「こんなことやっているよ」という情報提供や投稿を心からお待ちしています！

病院局業務課改革室

E-mail: ngt400020@pref.niigata.lg.jp

